



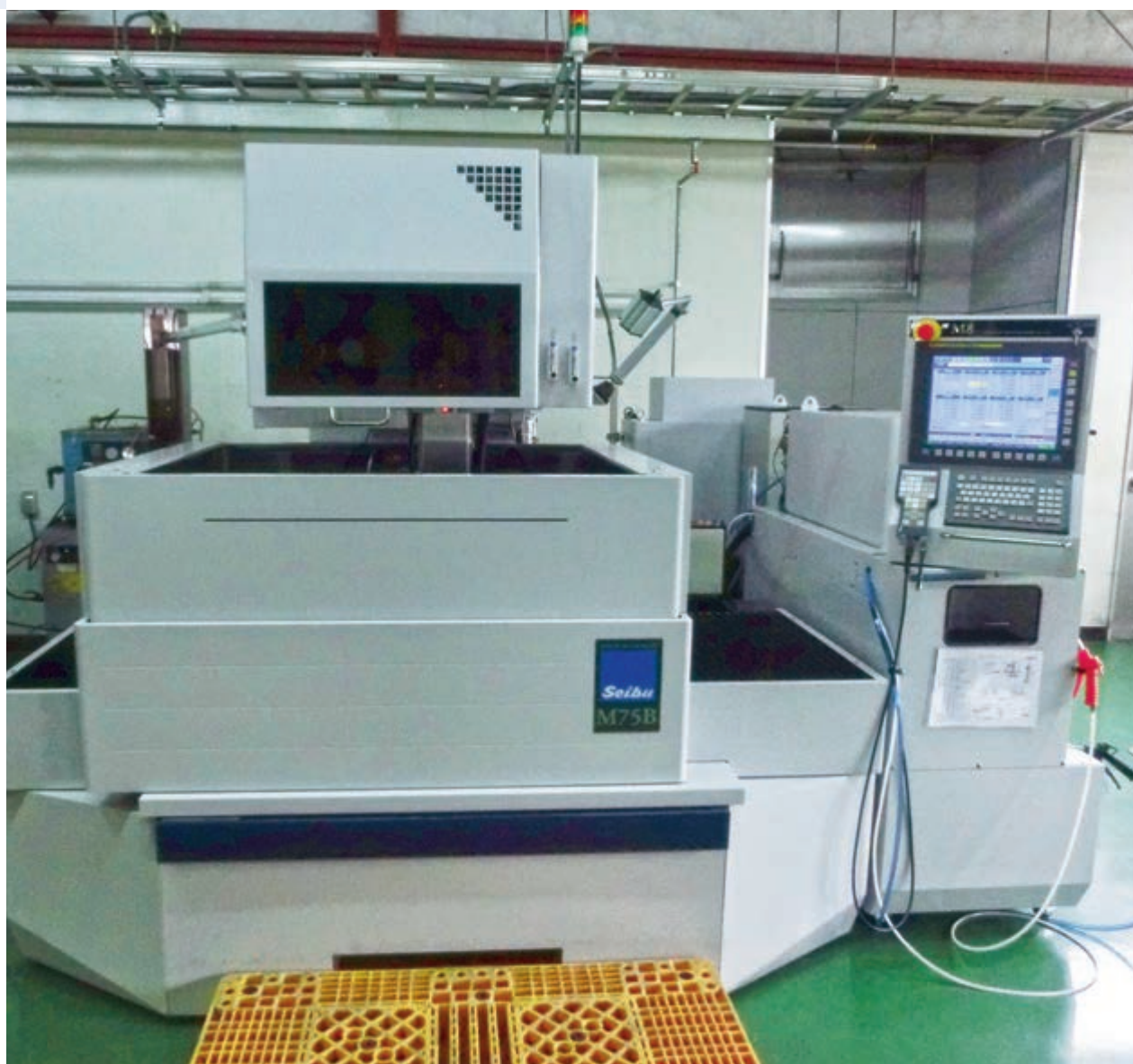
中園機工株式会社

事業取組みの経緯

海外業者の参入等により競争が激化している中、今後、より精度が求められる分野への参入及び取引先の拡大への対応に迫られていた。また、近年加工部品の巨大化が進んでいるが、現在保有しているワイヤー放電加工機では精度的にも対応できず受注できない案件が増えてきており、最新の機械装置導入が喫緊の課題であった。

事業内容

既存の機械では生産性が低く、新規市場が求める精度に追い付かないため、最新式のワイヤー放電加工機を導入した。その結果、生産性と加工精度が向上し、より精度(ピッチ加工精度 $\pm 3\mu\text{m}$ 、ワイヤー径 $0.1\text{mm}\sim 0.3\text{mm}$)が求められる新規分野に参入できる体制が整った。



高精度ワイヤー放電加工機

平成27年度補正 ものづくり技術

高精度ワイヤー放電加工機の導入による 精密部品加工事業の強化・新規分野への参入

最新式の高精密ワイヤー放電加工機を導入することで、作業時間の短縮、精度の向上が図られ、生産性が増すだけでなく、より精度が求められる新規分野への参入を目指す。

Achievement factor

事業成果・達成要因

高精度ワイヤー放電加工機の導入により、加工サイズ、精度が向上し、自動化も可能で生産性が高まった。それにより、新規開拓にも成功し大幅な受注増加を実現した。その効果はメンテナンス部門やその他の分野にも波及している。結果、新規顧客の獲得により前期売上高が16%アップした。

Future

今後の取組み

導入機器を含む機械加工部門では小型精密加工を強化し、当社独自の強みを発掘し、更なる受注拡大を目指す。メンテナンス部門は創業29年で培った技術を向上させるべくベテランから若手へ知識、技術の継承、共有を進める。当社では人手不足も深刻なため、休日の増加など「働き方改革」にも積極的に取り組んでいく。



(左上) 加工風景
(右上) 操作盤
(左下) 操作風景
(右下) ワイヤー放電加工品

令和ものづくり元年

未来創造 POINT!

機械加工、
メンテは任せて

[専門家からのアドバイス]

古く動かない機械も部品から作り直すなど技術力は高い。この技術力を若い人に継承するには実地指導だけでなく、文章化や動画化も有効である。新規開拓は、取引先が分散し、経営の安定化に資する。今年4月に社長が交代し、第二創業期を迎えているので、新経営陣は会社の方向性を経営理念等で従業員に明示してほしい。

企業 PR

大手製造業者からの要請もあり、平成2年、当地にて創業しました。機械加工、メンテナンス、製缶、配管、プレス特定自主検査、非金属の加工など幅広い分野に対応できます。メンテナンス時に見つけた劣化部品などは、自社製造し短期納品を実現しています。本社工場以外に国分工場、青山工場を展開しており、顧客から絶大なる信頼をいただいております。



中園社長

企業概要

事業者 中園機工株式会社
代表者 代表取締役 中園 裕樹
設立年月日 平成2年4月12日
所在地等
〒895-0044 鹿児島県薩摩川内市青山町馬渡4597-2
TEL: 0996-23-4592 / FAX: 0996-23-4708
〈URL〉<http://www2.synapse.ne.jp/nakazono/index.html>
(本社) 〒895-0211 鹿児島県薩摩川内市高城町1750-1

資本金額 1,330万円
従業員 49名
業種 生産用機械器具製造業